

技術士 1 次試験に合格して



向川 一歩

(むかいがわ かずほ)

勤務先

京セラコミュニケーションシステム株式会社

インフラ建設事業部 エンジニアリング 1 部

〒060-0031 北海道札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 6 札幌イーストスクエア 5F
TEL 080-6064-4119

E-mail kazuho-mukaigawa@kccs.co.jp

■ 専門：電気電子部門

○自己紹介

私は石川県金沢市出身で、地元の高専を卒業したのち、就職を機に北海道札幌市に移りました。これまでの主な業務としては、電力需要設備の電源設計と施工計画を担当してきました。

弊社には技術士資格を取得しようとする文化はございませんが、最近の若手社員のなかには取得を目指す方々が増えているような気がします。私もその内の一人です。

○受験のきっかけ

私が受験をしようと決めたきっかけは、機会に恵まれ、社会的意義が高いプロジェクトに配置されることになり、技術士の方々とお仕事をすることが増えたことで、いわゆる“先輩技術士の背中”を見て目指したいと思ったからです。

技術士の方々の専門的な知見を活かした問題解決・課題遂行の姿勢は大変勉強になりました。その当時にお世話になったみなさまには心より御礼申し上げます。

○なぜ技術士になりたいか

前述のとおり、私の会社には技術士資格を取得しようとする文化がありません。業務を占める割合のうち民間からの受注が大きいと、主に独占業務のある施工管理技士や主任技術者などの資格取得が技術者に求められているからです。それは、仕事を請けるうえで必要な資格であり、取得すべきと思いますが十分だとは思いませんでした。

それでも目指すのは、技術士の資質を備え、信頼を得たうえで、生活の豊かさや安心安全を守るための最後の砦として、社会的意義の高い仕事に立ち向かい続ける技術士に憧れているからです。

○技術士一次試験を終えて

技術士一次試験を受験するために、まずは仲間作りから始めました。同じプロジェクトに配置となった後輩を誘い、一緒に受験することにしました。

参考書は基礎・適性で 1 冊、専門で 1 冊の 2 冊を揃え、過去問を中心に学習を進めていきました。

試験の結果は、基礎科目は 5 割でギリギリ、適性科目と専門科目は 7-8 割で合格しました。合格発表の時には、その後輩と合格か不合格かの探り合いがあり、無事二人とも合格していたためホッとしました。競い合うように勉強できたのは後輩のおかげです。彼にも感謝をしたいと思います。

○技術士二次試験に向けて

一次試験と同様に二次試験を受験するにあたり、仲間が必要だと思いました。しかし、一次試験を共に受験した後輩は本州へ異動になったことで、自部門には技術士を目指す仲間がいなくなっていました。

そのなかで、合格者祝賀会等でご縁の合った先輩技術士・技術士を目指す技術者の方々と交流する機会をいただいたことで、今は二次試験に向けたモチベーションの維持ができそうだと感じています。

○さいごに

技術士は取得が難しい資格であると覚悟しています。技術士資格を取得できるまでに、目的を見失わず真面目に取り組みたいです。

最後に、交流会等でお声をかけてくださいました技術士会北海道本部のみなさま、並びに青技交のみなさまには心より御礼申し上げます。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。